

環境水道委員会 行政視察（案）

	視察項目	視察先	視察内容
1	環境分野における国のSDGsの推進の取り組み	環境省	環境分野における国のSDGs推進の取り組みについて視察し、本市の環境分野におけるSDGs推進の参考とする。
2	水素社会の実現に向けた川崎水素戦略	川崎市	同市では、川崎臨海部における水素ネットワーク構築に関する取り組みの推進により、地域の競争力強化を図るとともに、再生可能なエネルギーから製造したグリーン水素との連携や、市民生活分野、交通分野等への展開などを幅広く進めることで、水素社会の実現を目指しており本市の参考とする。
3	水素社会の実現に向けた東京2020オリンピック・パラリンピックでの水素エネルギーの活用	東京都	同都では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、会場への輸送や選手村等において水素エネルギーを活用することで日本の高い技術力をアピールするなどして、環境先進都市のモデルとなるまちの実現を目指している。本市の水素タウン実証・PR事業でも東京都との連携によるPRを図ることとしており本市の参考とする。
4	マチごとエコタウン所沢の取り組み	埼玉県所沢市	同市の環境分野の取り組みは、日経グローバルが持続可能性の観点から独自に実施したSDGs先進度の調査における環境分野でトップとなった。電気自動車など次世代自動車の購入に助成しているほか、充電設備を自ら整備し、充電設備への助成制度も設けるなどの取り組みが評価されており本市の参考とする。
5	電気自動車の普及等の環境未来都市の実現に向けた取り組み	さいたま市	同市では、運輸部門からの二酸化炭素排出削減対策として、走行時に二酸化炭素を排出しない電気自動車（EV）の普及を目指した施策「E-KIZUNA Project」を推進しており、電気自動車等の導入補助等を行っている。また、「暮らしやすく、活力のある都市として、継続的に成長する『環境未来都市』の実現に向け、「次世代自動車・スマートエネルギー特区」の取り組みを進めており本市の参考とする。
6	永久水利施設整備事業	東京都荒川区	同区では、首都直下型地震発生時に上水道の6割近くが断水する恐れがあるとして、震災時に枯渇しない水源（永久水利）を確保し、火災の初期消火や延焼の防止を図っている。その取り組みを本市の防災事業の参考にする。

	視察項目	視察先	視察内容
7	下水道アセットマネジメント	仙台市	同市では、下水道管の増加や老朽化により維持管理や更新業務が増大する一方、料金収入などの経営資源の減少傾向に備えるために、効率的な事業運営を推進するとしており、その取り組みを本市の上下水道事業の参考にする。
8	エネルギーパーク須本	兵庫県洲本市	同市では、再生可能エネルギーの活用推進による地域活性化を図るとともに、再生可能エネルギー活用設備での見学等の受け入れにより、市民への啓発普及を行っているため、その現状を視察し、本市の取り組みの参考とする。
9	南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえた名古屋市震災対策計画の実施	名古屋市	同市では、地震災害による被害の軽減のために、「災害対応力の向上」、「災害に強いまちづくり」、「地域防災力の向上」の3つの方針のもとで、14の目標、33の施策項目、延べ178事業を体系化してその進捗状況を公表するとしている。本市における巨大地震への備えを強化するための取り組みの参考とする。
10	京都市におけるSDGsの推進	京都市	同市のSDGsの取り組みは、日経グローバルが持続可能性の観点から独自に実施したSDGs先進度の調査で、経済、社会、環境のバランスが取れた発展につながっているとして総合評価がトップとなった。その取り組みを本市の参考とする。
11	SDGsの普及啓発	静岡市	同市では、SDGsの認知度50%を目指して、昨年5月の国連本部での演説に始まり、様々なSDGs普及啓発の取り組みを進めている。これを強力に推進するため、本年1月3日から12日までをSDGsウィークとして、講演、意見交換、先進事例発表など種々の取り組みを行っており本市の参考とする。